

【参考資料】

安芸太田町長 橋本博明 様



太田川河川整備計画の変更に関する意見書

吉和郷地区におけるダム建設計画は50年以上前から始まった地域の大きな懸案事項です。この間、本計画により地元住民は驚きと困惑により賛成反対を含め様々な意見が錯綜し、更にその後の計画足踏み状態もあり、社会情勢の変化に振り回されてきました。

今回、改めてダム建設計画の提案が国からなされました。ダム建設により慣れ親しんだ集落の姿が変わることは未だ容認できるものではありませんが、過疎、高齢化が著しく進んだ地域の現状に加え、近年の気象変動と水害が多発する中で、自分たちのみならず下流域住民の安全にも思いを巡らすとき、下記項目の実現に誠心誠意努力していただくことを条件に断腸の思いで計画の推進を受け入れます。

記

- 1 地元住民に対して計画の進行状況に応じて適時適切に情報を提供すること。
- 2 ダム建設による負担を強いられ生活が激変する関係者の心情を慮り十分な補償をされること。
- 3 環境への影響は極力抑えること。
- 4 ダム建設の計画は地区及び町の活性化に資するものとなること。
- 5 河川内の支障樹木除去や堆積土砂浚渫、水質保全など河川環境の適切な維持にも尽力すること。
- 6 太田川流域の環境整備は、上流域に負担を強いるだけでなく下流域も含めて一体となって取り組むこと。

以上

令和5年6月11日

吉和郷ダム対策協議会 会長

吉和郷自治会 会長

打梨自治会 会長

那須自治会 会長